

第9回日本放射線事故・災害医学会年次集会概要
廃炉における医療の課題

大会長：長谷川有史 公立大学法人 福島県立医科大学 医学部 放射線災害医療学講座
日時： 2021年9月4日(土)9:50-16:20
会場： ウェブ開催(福島県立医科大学)
理事会： 学術集会終了後直ちに開催(16:20以降)
総会： 13:00-13:25
参加費： 会員 無料、非学会員 2,000円

プログラム

09:30-09:50 会場(接続確認)

09:50-10:00 開会挨拶

10:00-11:00 教育講演1 「UNSCEAR2020 レポートの概要」

座長 鈴木 元(国際医療福祉大学クリニック)

演者 明石 眞言(東京医療保健大学)

11:00-12:00 教育講演2 「知っておきたい放射線・核物質の国際情勢-防衛医官からみた放射線事故・災害医療」

座長 長谷川有史(福島県立医科大学)

演者 清住哲郎(防衛医科大学)

12:00-13:00 休憩

13:00-13:25 総会(会員のみご参加ください。)

13:25-13:30 休憩

13:30-16:05 シンポジウム「福島第一原発における α 核種内部汚染のリスクと対策」

司会 長谷川有史(福島県立医科大学)、廣橋伸之(広島大学)

<シンポジウムの目的>

本シンポジウムの目的は、福島第一原発で発生する α 核種内部汚染発生時に質の高い実効性ある医療サービスを提供することである。そのため、本シンポジウムの目標を「福島第一原発の α 核種内部汚染発生時の医療対応フローの見直し」とする。上記は、その実効性、医療の質の担保、最近の線量評価・治療経験の反映、等を踏まえて行う。そのために、福島第一原発に於ける廃炉工程、廃炉工程における α 核種内部汚染リスクの現状、 α 核種内部汚染における放射線生物学的影響、 α 核種内部汚染の課題(特に

線量評価の観点から過去の事例を踏まえて)、緊急時の会員の役割、等の理解と確認を行う。本シンポジウムが本会員間での情報共有と意思統一、ひいては医療サービスの向上の一助となれば幸いである。

- 1) JAEA 大洗研究所におけるプルトニウム内部汚染事故の教訓 1.; 初動現場の放射線管理対応(20分)
演者 百瀬琢磨(日本原子力研究開発機構)
- 2) JAEA 大洗研究所におけるプルトニウム内部汚染事故の教訓 2; 治療現場の線量評価と治療(各 15 分 計 30 分)
演者 栗原 治 (量子科学技術研究開発機構)
富永 隆子(量子科学技術研究開発機構)
- 3) 福島第一原発における α 核種内部汚染のリスク(20分)
演者 高平史郎(東京電力福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 燃料デブリ取り出しプログラム部 環境整備・線量低減PJグループマネージャー)
- 4) 福島第一原発における α 核種内部汚染発生時の対応フロー案(40分)
演者 林田敏幸(東京電力福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 防災・放射線センター放射線・環境部長)

休憩(進行状況により休憩時間を調整いたします。)

- 5) 指定発言(各 5 分 計 10 分)
演者 細井 義夫(東北大学)
演者 谷川 攻一(ふたば医療センター)
- 6) シンポジウム総括(10分)
演者 明石 眞言(東京医療保健大学)

16:05-16:15 全体総括

演者 前川 和彦(社会医療法人、東明会原田病院)

16:15-16:20 閉会および次期大会長挨拶